



未来に向かってジャンプ!

CHRIST FOR THE NATIONS JAPAN BIBLE SCHOOL



ホームページを  
ご覧下さい!

cfnj.com



- ★アルプス(牧師リーダー)コース
- ★1・2年コース
- ★CMP(児童・親業)コース
- ★短期コース
- ★通信・聴講制度
- ★演劇・ドラマコース
- ★タンバリンクラス
- ★ワーシップダンスクラス
- ★ドラムクラス
- ★フラッグクラス
- ★ピアノクラス
- ★バーナークラス

2007年4月から「CMPコース」、及び「ハレルヤアカデミー」を新設致します! 詳しくは事務局迄おたずねください。



学院の特徴

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・海外・国内アウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度

2007年4月 新入生募集中!

※詳しい資料をご希望の方は、事務局迄お知らせください。



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157

(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688

●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文



『これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ』  
マタイ17章5節

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院  
2007年2・3月号 NO.121

# 父なる神の願い

(父の願いは子供を喜ばせる事)



学院長 鍛冶川利文

「彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲がその人々を包み、そして、雲の中から、『これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞きなさい。』という声をした。」

マタイ17章5節



この個所はあの有名な変貌の山での出来事です。イエス様が三人の弟子を連れて高い山に登り、そこで弟子達は実に驚くべき光景を目にします。イエス様の御姿が変わり、御顔は太陽のように輝き、御衣は眩しく光り白くなります。しかもモーセとエリヤが現れ、イエス様となにやら話をします。その光景は正に超自然の荘厳で神秘的な光景でした。弟子のペテロは驚きと恐怖のあまり正気を失います。

このような状況の中、天からの神の声がありました。その声は天を引き裂くような激しい調子ではなく、むしろその場を包み込むようなやさしい言葉でした。「これは私の愛する子、私はこれを喜ぶ」この言葉は他にマタイの福音書の3章17節にも記されています。バプテスマのヨハネから洗礼を受けた後、イエス様が公生涯を始められる時にも同じ言葉が語られました。イエス様にとってこの言葉が語られた時は、これから重大な使命を果たそうとする正に人生のターニングポイントのような大変な時でした。この言葉の内容は何か深い啓示とか、壮大な預言で深い解釈が必要ということではなく、むしろ単純な「私があなたの父であり、あなたの事をいつも見守っているよ」という天の父からの優しい呼びかけです。

父が子供の人生を見守り、その重大な局面に優しい言葉をかける、その言葉はどれほど子供を励まし勇気づけ支えることでしょうか。神という存在が「父」であり、その「父」が「子」という存在を喜び、いつも見守っておられる。そしてこの言葉こそは聖書全体の本質的なメッセージでもあります。キリスト教は一言で言うと「父親の真心の教え」です。これは、難しい教理の問題ではなく、実感です。

最近のニュースを見ると、家庭崩壊、家族がみなバラバラで、親が子供を虐待し、殺してしまうような痛ましいニュースばかりです。今の時代は親子の関係が破壊されているような危機的な時代です。

でも聖書に出てくる父と呼ばれるお方は、たとえどんな事があろうと見離さず、見捨てず、最後まで愛し守り続けて下さるお方です！

## 1. 「父と子の関係」

イエス様はいつもご自分が天の父の子供である事を強く意識していました。弟子達はイエス様と長く一緒に過ごしました。共に道を歩き、畑や山を越え、町を通り、湖や川の辺で座りながらいろいろな事をイエス様から聞きました。又、病や悪霊に憑かれた人を癒され、ある時は死人を蘇らせ驚くべき御業を弟子達は目撃しました。そんな中で弟子達は、どうしてイエス様はこのような事が出来るのだろうか？この力はいったい何処から来るのか、この方は普通の人とはどこか違う。ただの人ではないという事を知っていきます。そんな中、イエス様が祈りを終えられた時、思い切ってこう訊ねます。「イエス様、どうか私達に祈りを教えてください！」この個所はルカの福音書11章1節の言葉です。恐らく弟子達は、この方の不思議さは、この祈りの中にその秘密が隠されているのではないだろうかと考えたかもしれません。そこで、弟子達はもっと熱心に、力強く、長く祈る事が出来るように、その祈りの秘訣を教えてください！と強く願いました。しかし、イエス様の答えは非常にシンプルな答えでした。それは「父よ！」「天におられるわたした達の父よ！」という呼びかけです。まず祈りの最初に「父よ」と呼び

かけることは当時のユダヤ人社会では衝撃的な言葉でした。当時、イスラエルでは、神を父と呼ぶことはありませんでした。イスラエルの国家の父という概念はありましたが、個人的に呼びかけたりは出来ませんでした。でも、イエス様は「お父さん！」と祈りなさい教えます。この呼びかけは、祈りはまず、この立場を認める所から始まるのだという事を弟子達に教えるためでした。祈りはまず「する」という行為からではなく「ある」という立場から始まります。つまり「DO」ではなく、「BE」子であることを認めることからはじまるのです。

## 2. 父の願いは子供を喜ばせる事

私は聖書の放蕩息子の個所(ルカ15章)を読むと、天の父がなんと子供に甘いお父さんであるかに驚きます。これでは正に親バカです。子供の性格をよく知っていながら敢えて財産を分け、あげくの果てに使い果たし、無一文になって帰ってくる息子をずっと待ち続け、やっと帰って来た子供に自分から駆け寄り、受け入れ、赦し、なんと家中で一番良い服を着させて宴会まで開きます。こんな親がいるのでしょうか？いたとしたらそれはチョット甘やかし過ぎに思います。でも、これが神の真実な姿です。聖書の神である天の父は私達子供にこのようにして下さるのです。驚くべき愛の方です。つまりそれは100%の受容ということです。受け入れてくださるという事です。その際、子供の出来不出来は関係ありません。いやむしろ出来の悪い子供こそ可愛く、心配です。これが子供として扱うという事です。

子供は親にとって特別な存在です。子供とは特別扱いされるものということです。でも、それはただ甘やかされるという事ではありません。子供として扱われるという事は、親は親としての責任を最後まで果す為に全力を尽くすという事です。

親は子供の言う事をどこまで聞くのか？又、子供は親が自分の願いをどこまで聞いてくれるのか？これが問題です。以前、歯医者に言った時、3~4才の女の子が親と共に歯の治療を受けていました。先生が注射をしようとした時、その女の子は激しく泣きながら、叫び続け、結局、親も医者も根負けして治療を止めてしまいました。終わった後、待合室でその子は一生懸命母親に弁解をしていました。なぜ注射が嫌だったか、実に達者な言葉でお母さんに長々と説明しました。でも最後に親は子供の目をしっかり見つめてこういいました。「わかったよ。でもね、だからといってこれで終わったら虫歯はひどくなって、もっともっと痛い思いをしなけれ

ばならないの。だから、明日は必ず治療を受けるのよ！」と。お母さんの真剣な眼差しを見て子供は「うん！」と素直にうなずきました。子供の必死な願いで、親の心が変わる事があるかもしれません。しかし、子供にとって必要な事は、親は必ずやり遂げるという事です。

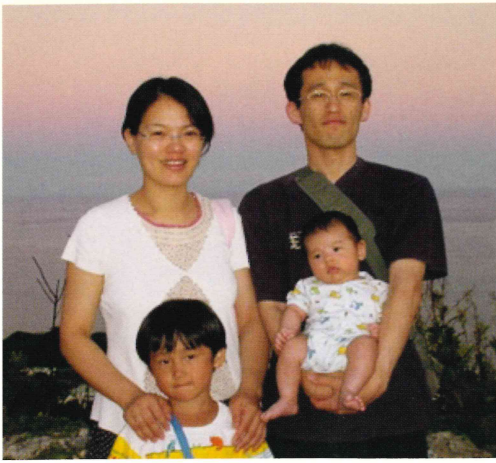
## 3. 子供の願いも親を喜ばせる事

ヨハネの福音書4章にあるサマリヤの女との出会いの時、イエス様が語られた礼拝者の条件があります。それは、父が望んでいる礼拝者の姿は、「霊と真によって礼拝を捧げる」ものという言葉です。これは、親が願う子供の姿です。つまり、霊とはその人の本質、ありのままの姿です。礼拝は、形や儀礼的な肉の部分で行なうのではなく、霊というその人の本質をあらわにして、さらけ出し、子供らしく神の前に出ること。そして、真とは正直に真実をもってという意味です。つまりこれは親から愛されている子供らしく、子供として親に接する。それが親が最も願っている事です。そして、その子供の願いは、子供なりに何とか親を喜ばせたいという事です。

以前、私の妹が母親といつも仕事の帰り、一緒に買い物をして帰っていました。ある時、母親がショーウィンドーの中の素敵なバッグ(皮製の高級そうなバックです)を見て、「高そうだね。チョット手が出ないわね」そう言いながらいつも帰りました。そんなある日の帰り道、母親がいつものショーウィンドーに目をやるとそのバッグがありません。母親は「誰かが買ってしまったんだね。残念！でも仕方がないよね。いつまでも売れないとお店も困るからね」と言いました。でも内心はとても残念そうにしていました。その日、家に帰ってから妹は、いきなりパンパカパンと言って、母親に一つの包みを渡しました。その中身はあのバッグでした。実は妹は母親の喜ぶ顔が見たくてお金を貯めて買っておいいたのです。母の目には涙が溢れていました。あまりにも思いがけず突然だったのでビックリしたのです。母親が喜んだのは言うまでもありません。子供にとっての最大の願いは、親を喜ばせる事です。

私達は天のお父さんの子供である事をしっかりと理解しなければなりません。イエス様はこう言いました。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、はいれません。」マタイ18章3節

私達は天の父の子供です。愛されている子供としてこれからも父の心を喜ばせる歩みをしていきましょう。■



(4)

第19期卒業生 **金ファミリー**  
金聖圭(1969年生まれ)19期生・張瓊文(1971年生まれ)20期生  
金イサク(2000年、岡山県生まれ)・金ヨハン(2006年、沖縄県生まれ)

## 開拓伝道開始!

「ジーザス・コミュニティ・チャーチ」  
**開拓伝道へのビジョン**  
主から与えられたビジョンの御言葉「主に、水が海をおおうように、地は、主の栄光を知ることによって満たされる。」

ハバクク2章14節  
日本中が主の栄光を知ることによって満たされるその日を夢見て:

2004年11月CFNJ聖書学院で学んでいたとき、主は私に開拓伝道へのビジョンと思いを与えてくださいました。その

# 卒業生からの通信

### 主の召しに従って歩む!

## 沖縄から北海道へ

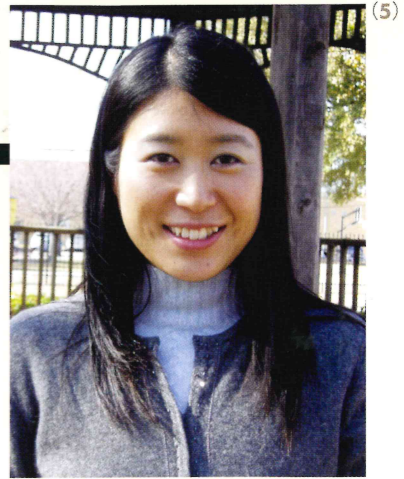
2006年3月にCFNJ聖書学院を卒業し、沖縄世界宣教教会での働きのために北海道から沖縄へ行き、1年近くチャーチスクールでの事務的な働きと日曜日ハイースや中高生の働きに仕えさせて頂きました。そんな中、すでに主から与えられていた開拓伝道の働きを2007年2月から始めることを主から示されました。全ての時を定めておられる主の導きで最初の計画より、随分早いスピードで事が運び、1月16日に沖縄から北海道の石狩へと移り住むことが出来ました。現在、2月から石狩市で開拓伝道の働きを始めるため、祈り備えています。どうぞお祈りに覚えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださいるように祈りなさい。」ルカ10章2節

時までは開拓伝道ではなく、宣教の働きをしたかと思いましたが、与えられた開拓伝道への思いがジーザス・コミュニティ・チャーチ「開拓のビジョン」と私たちを導きました。ジーザス・コミュニティ・チャーチという教会名とともに神様の願っておられる教会の姿についても語られました。「ジーザス・コミュニティ・チャーチ」は「礼拝共同体(COMMUNITY)、愛の共同体、聖霊共同体、宣教共同体、セルチャーチ共同体」という主から与えられた教会の姿の実現を目指す働きでありたいと願っています。

「ジーザス・コミュニティ・チャーチ」に対する主の命令は、マタイ22章37節、39節の「心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」とマタイ28:19「ゆえに、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい」とあり、ヨハネ15章5節「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」を教会開拓の土台となる御言葉として与えてくださいました。また、教会内になくならない霊的な雰囲気としてガラテヤ5章22節、23節の「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」の御霊の実を示してくださいました。私たちは主から与えられたこのビジョンが成就されることを確信し、主からのビジョンに向かっていきたいと願っています。

## 北海道、石狩市で

北海道と石狩市に対するビジョン  
CFNJ聖書学院私たちが学んだ聖書学校がおかれている場所が石狩市の花川北という地域です。花川北の人口は約2万人ですが、現在、この地域にはエホバの証



(5)

牧野 安菜

(CFNI School of Children's and Family Ministry)

CFNJ第20期修了/CFNI卒業  
現在、Children's and Family Ministryコース在学中

## 生活の中に働かれる主 in CFNI

2006年12月21日

2005年8月に日本のCFNJからアメリカのCFNIの2年生として編入し、2006年8月から「School of Children's and Family Ministry」で学びを続けさせてもらっています。CFNIで体験したことをここで少し分ち合いたいと思います。

CFNIに来たばかりの頃、デイポジションでエレミヤ書29章を読む機会がありました。「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。――主の御告げ。――それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こえ、あなたも、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけてくれるだろう。」エレミヤ29章11節から13節

29章11節はとても有名な御言葉ですが、この時は特に「わたしを呼び求めて歩き(12節)」「心を尽くしてわたしを探し求めるなら、わたしを見つけてくれるだろう。(13節)」という御言葉が心に響きました。そして、

「どうか、神様あなたのことを更に慕い求めることができるように、あなたのことをもつと知ることができるようになって下さい。」と祈りました。

正直に書くと、日本では一人でできたことも、アメリカではいつも友達の手助けが必要でした。特に、授業のノート取り、発表、テスト、買い物、ミニストリーに参加すること等々、これら全てにおいて、主に祈り、導いて下さる様に願わずには何も出来ませんでした。最初の学期は英語で何を話しているのか全く理解できなかったため、15分で集中力が切れ、授業中眠ってしまいました(先生「めんない...」)

また、一日の生活を送ることに精一杯になり、時々ホームシックにもなりました。そんな時、イザヤ書63章9節の「いつも背中私を背負ってくれる主の愛、大きな愛を感じさせられました。主は世界各国から来た素晴らしい友人に出会わせてくれました。ノート取りで困っているときさり気なく助けてくれた友人達、レポートのスペルやグラマーチェックを1時間もかけて丁寧に教えてくれた友達、悲しみ寂しいとき一緒に励ましてくれる友達、主が与えてくれた友人達は大きな財産となっています。」

「ここに来て良かったことは40日断食祈禱を含む様々なカンファレンス、キッズ・チャーチ、レコーディング、アウトリーチなど多くのことを体験する機会に巡り合えたことです。これらを体験する中、私の心にあつたのは、日本の救われていない魂のことです。私の多くの友人もまだ救われていない。友達と一緒に天国に行きたい!それが私の願いです。」

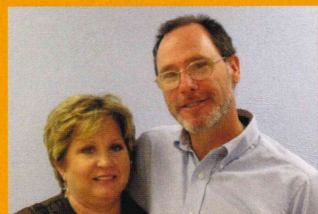
**いよいよ4月から CMPとは? Children's Ministry & Parenting**  
(児童へのミニストリーと親業)の略称です。

**CMPコース開講!**  
**新入生募集!**

■CMPコース 1学期の科目&講師

	月	火	水	木	金
1 時間目	子どもにおける怒りの予防とケア	神を体験する (授業&スモールグループ) ●講師/小栗由美子師	ライフサイクルにおける成長 ●講師/ジョン・バリー師	聖書的児童伝道 ●講師/G. ダイアン師	ライフサイクルにおける成長 ●講師/ジョン・バリー師
2 時間目	子どもにおける怒りの予防とケア	神を体験する (授業&スモールグループ) ●講師/小栗由美子師	信仰的親業 ●講師/ダナ・バリー師	聖書的児童伝道 ●講師/G. ダイアン師	ライフサイクルにおける成長 ●講師/ジョン・バリー師
3 時間目	子どものための創造科学	聖書的児童伝道 ●講師/G. ダイアン師	信仰的親業 ●講師/ダナ・バリー師	信仰的親業 ●講師/ダナ・バリー師	分ち合いの時間

※詳しくは事務局までお問い合わせください。



<主講師>  
ジョン&ダナ・バリー牧師夫妻

人の王国会館や創価学会の集会所、神社仏閣はありますが、教会が一箇所もありません。CFNJ聖書学院の存在がこの地域においては大きな祝福となっていると信じています。しかし、さらに主の教会がこの地域に必要であることは言うまでもないことであると思います。石狩市全体を見ると人口約6万人に対して教会は3箇所だけです。このような状況から、主が私たちに石狩での開拓伝道へと導いてくださいました。私たちはCFNJ聖書学院を卒業し、沖縄の教会で仕えている時、北海道と石狩市に対する重荷を強く感じるようになってきました。CFNJ聖書学院の存在はこの地域においては神様の光に他ならないと信じます。そして、私たちの開拓の働きはCFNJ聖書学院や地域教会の霊的な傘の下で進められるべきであると強く感じています。この地域の多くの失われた魂がイエス・キリストの救いに導かれることを切に願います。主とともに開拓の働きに第一歩を踏み出したいと思っています。

## 新入生のご紹介 (3学期から、1・2年コース)

ハレルヤ! 主イエス様に感謝します。たくさんの方の愛と祈りに支えられ、入学に導かれたことを感謝します。主を愛し、主に仕えている兄弟姉妹とともに学び、訓練を受ける機会が与えられたことを感謝します。主の良くてくださったことを何一つ忘れないで、主の愛、恵み、あわれみを流していき者にますます造り変えられたいです。



東京都日野市  
日野キリスト教会  
村井信子姉

## 祈りの課題

1. 開拓の働きのために毎日とりなして下さる祈りのサポーター100名が与えられるように。
2. 開拓の働きを円滑に進めていくために、毎月約25万円の経済的な必要が満たされるように。
3. ともに働く働き人が与えられるように。(CFNJ聖書学院の学生や韓国、台湾などからの短期宣教チームとも協力することを願っています。)
4. 石狩市民 6万人と隣接する札幌市の魂に福音の種が蒔かれ、多くの実を結ぶことができるように。魂を愛する主からの熱い思いが豊かに注がれるように。(人口の10%が主に立ち返るように)
5. 石狩市内の教会との協力がなされるように。
6. 将来的に北海道内に12の教会を開拓することができるように。
7. 韓国語講座、中国語講座、子供英会話などの各種文化講座も開講することを願っています。これらの講座を通して関係の輪が広がり、伝道へと繋がるように。私たちに与えられた賜物が用いられるように。
8. 地域社会の共同体と良き関係が持てるように。また、地域社会にも積極的に貢献する開拓伝道がなされるように。

※ 私たちは開拓の働きのためにとりなして下さる方を100人必要としています。毎日この働きのためにとりなして下さることの出来る方はメールにてそのことを伝えて下さるようお願いいたします。その方には定期的に祈りの課題をメールでお送りさせていただきます。  
kimsungyoo@gmail.com



World Prayer and Share Letter

とりなし手の皆様へ

# 世界のための祈り

ダイアン・グリコ



## 予期せぬ展開

2005年10月に、3人のインドネシア人のクリスチャンスクールの少女が、覆面の男性に襲われ、殺害されました。現在殺人容疑で公判中のイスラム教徒7人の男性のうち3人が、近頃、遺族と、彼らの悪質なたによる攻撃を逃れた1人の少女に許しを乞いました。

先日、娘を殺害された両親と一人の生存者は、この3人の被害者への赦しを与えるために中央スラウェシからジャカルタまで旅をしました。頭を切り落とすなどの残忍な攻撃にショックを覚えつつも、その両親と唯一の生存者であるノヴィアナは自分達の心に赦しの思いを見出すことができました。被害者である娘(ヤミさん)の父マーカスさんはこのように述べました。「父親として、まず非常に憤りを覚えています。しかし、イエス・キリストが私を赦してくださいましたように私は彼らを赦します。」

アルフィタの母ニッジーさんは次のように述べました。「神様がこの悪事を働いた人々をお許しになるように、そして彼らが二度と同じことをくりかえさないように彼らの思いを新しくしてくださることを祈っています。」神様は祈りに答えて、2006年5月には、7人のイスラム過激派が捕らえられ犯罪を告白しました。2007年の始めまでこのインドネシアの殺人にかかわる裁判の判決は分かりませんが、安らぎや終結、真の平安をもたらす赦しの力以外には、どんな正義も厳しい判決も嘆き悲しむ心を癒すことにはないと犠牲者家族は言っています。

<祈りの課題>イエス・キリストを信じるがゆえに多数攻撃され殺されているインドネシアのクリスチャンのために祈りください。彼らの愛と揺らぐことのない信仰の勇敢な模範が、福音を語り、迫害し悪口を言う人々への愛と赦しを示し続けるために世界中の信者を奮い立たせますように。(CBN world news.comより)

## イランの若者 - "イエス様であって喜ぶ!!"

イラン人口7千万人の70パーセントが30歳未満です! その中には、イスラム教の国家宗教を去ることによってリスクを負う人生に身をおいた活気溢れる若いクリスチャンの小さいグループがいくつかあります。彼らのただ中にあるイエス様の臨在を喜び祝うために密か

に集まるこの若者達のレポートがドキュメンタリー・ビデオで放映なされました。そこには賛美礼拝の時間、主を喜び賛美する彼らの姿が映し出されていました。

クリスチャンは人口の1%未満ですが、この活気に溢れた若い男性や女性は機会があるたびに、慎重に一人で自分達の信仰を分かち合います。この若者達の中には、個人的な夢と幻を通してイエス様に会った人もいます。イランが中国のように新しい革命を経験するように祈り続けましょう。「私はイエス様に向かって走ります!」「I -ran for Jesus!」(CBN 700 Clubより)

## 中東に於けるメディアミニストリー

イスラム教の背景を持つ信者の約25パーセントの人々は、夢や幻によって影響を受けたと言っています。イスラム教徒に対するクリスチャンのメディア関係の奉仕活動は、特に中東においては強力なミニストリーの手段の一つです。毎日21ヶ国の600万人のアラビア語を話す人が見られる「ひとつの」衛星チャンネルはその10周年記念を祝い、さらにイランやトルコに進出する準備をしています。(CFNJ 2006年10月号 "Prayer & Share" 13ページより)

## 山の上で、丘の上で、いたる所で語り告げよ

編集者からあなたへ  
私たちが生きる現代の不安定さにもかかわらず、確実に残るひとつのものをお分かちしたいと思えます。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3:16)

もし、あなたがイエス様をあなたの救い主として知っているという確信がないなら、今こそ、主を心に受け入れ、罪の赦しを乞い、あなたの人生の主となつていただく時です。そして、出て行ってほかの人々にあなたの救いのよき知らせを語り、イエス様を彼らの人生にお招きする方法を示しましょう。この世は救い主を必要としています! 2007年、あなたが多くの人々を主のもとへと導かれますように。(S. ダイアン・グリコ)

# ゲストスピーカーのご紹介

3月

2007年3月5日(月)~8日(木)・9日は卒業式  
●全体~午前9:15~11:25までの2時間



## スティーブン・ケイラー師

千葉県船橋市にあるホープチャーチ主任牧師。アメリカ人の肉体に九州男児の血潮を持った情熱的説教者。イエスキリストを鮮やかに語り、礼拝を心から愛すると共に、聖書的で健全な教会と純粋なクリスチャンを日本に建て上げるため、シェリー夫人と6人の子供たちと共に全力を注ぐ21世紀の牧師。

4月

2007年4月16日(月)入学式・講義は17日(火)~20日(金)迄  
●全体~午前8:45~10:55迄の2時間



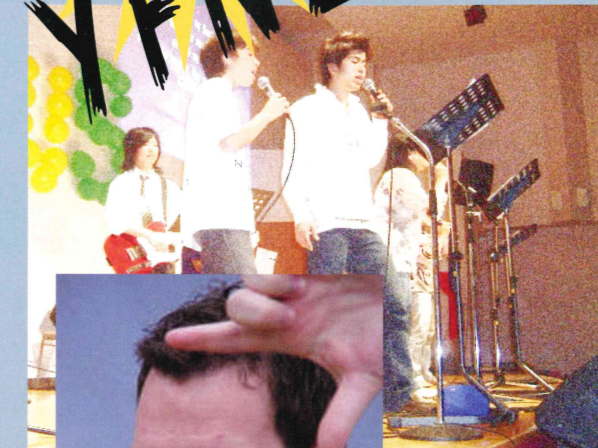
## 新宿シャローム教会牧師 稲福エルマ師

1944年 米国ハワイ州ホノルル市で日系三世として生まれる。1974年から東京都新宿区に新宿シャローム教会を始める。1982年 国内の最初の枝教会を生み出す。現在10教会に及んでいる。CFNJ聖書学院顧問

●ゲストスピーカーの授業は聴講無料(席上献金があります)ですが、アルプスコースの授業は有料となります。

今年もやります!

今年のゲスト・スピーカーは、あの熱い男たちが再び来日。君の心を燃やす!!  
ユース・フォー・ザ・ネイションズ



■日時:6月1日(金)・2日(土)

■場所:CFNJ聖書学院

■ゲスト・スピーカー:

CFNJ学院長/アダム・マッケイン  
ドウェイン・レンフロ

## ご報告と感謝! 「緊急のご支援のお願い」

いつもCFNJ聖書学院のために祈りと献金を持ってご支援して下さる事を心より感謝いたします。昨年12月上旬に「緊急のご支援のお願い」を送らせていただきました。その結果12月末までに多くの方々から合計150万円以上の献金があり、年内に予定されていた施設維持費、人件費、光熱費などの支払いをすべて滞りなく行う事が出来ました。主に感謝すると共に、私たちの呼びかけに素早く応答してくださいました、お一人お一人に感謝いたします。主からの豊かな祝福がありますように!

## 2006年度CFNJ会計報告 2006年1月~12月

収入		支出	
前期繰越	511,445	給与手当	17,250,200
USA献金	13,189,140	対外献金	626,000
個人献金	4,061,173	水道光熱費	5,473,208
授業料収入	5,194,092	旅費交通費	1,064,181
寮管理収入	6,944,200	印刷費	1,099,273
食費収入	2,321,860	通信費	1,432,736
その他の収入	708,645	消耗品費	979,087
校舎献金	868,700	広告費	317,950
		火災保険	318,490
		修繕・維持費	1,564,731
		食費(材料費)	2,125,497
		その他の支出※	1,361,916
		支出合計	33,876,669
収入合計	36,055,313	次期繰越	2,178,644
			36,055,313